

平成 19 年度における概況

1 上水道事業

平成 19 年度末の事業数は 34 であり、うち 33 が稼動している。

全事業の計画給水人口は、1,946,016 人となっており、現在給水人口は 1,728,773 人で昨年より 3,519 人 (0.20%) 増加している。

年間給水量は、265,376 千 m^3 で、前年度より 368 千 m^3 (0.1%) 減少しており、実績 1 日最大給水量も 841,738 m^3 で、前年度より 21,044 m^3 (2.4%) 減少した。

給水収益は、37,391,912 千円で、前年度より 379,456 千円 (1.0%) 減少し、給水人口 1 人あたりの水道料金負担額は、年間 21,629 円となっている。

年間取水量は 272,327 千 m^3 で前年度より 847 千 m^3 (1.0%) 増加し、取水量に対するロス率は 2.6%、有収率は 87.3%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の 180,867 千 m^3 で、次いで営業用の 36,176 千 m^3 となっている。

供給単価は 161 円/ m^3 で、前年度より 2 円/ m^3 減となっている。

2 簡易水道事業

箇所数は 139 で、うち 137 が稼動している。現在給水人口は 102,600 人で前年度より 277 人 (0.3%) 減少し、年間給水量は 15,488 千 m^3 で前年度より 134 千 m^3 (0.9%) 増加した。

1 日平均 42,318 m^3 を給水しており、前年度より 253 m^3 (0.6%) の増加となった。

年間有収水量は 12,630 千 m^3 で前年度より 29 千 m^3 (0.3%) 減少し、有収率は 81.5%であった。

3 専用水道

専用水道施設は 115 であり、現在給水人口は 54,016 人である。

115 施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが 60 施設で現在給水人口は 13,266 人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている」ものは 55 施設で現在給水人口は 40,750 人である。